

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東北財務局長
【提出日】	平成21年8月14日
【四半期会計期間】	第40期第1四半期（自平成21年4月1日至平成21年6月30日）
【会社名】	株式会社やまや
【英訳名】	YAMAYA CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役会長 山内 英房
【本店の所在の場所】	宮城県仙台市宮城野区榴岡三丁目7番35号 損保ジャパン仙台ビル9階
【電話番号】	022(742)3111(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員経理部長 早坂 克昭
【最寄りの連絡場所】	宮城県仙台市宮城野区榴岡三丁目7番35号 損保ジャパン仙台ビル9階
【電話番号】	022(742)3111(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員経理部長 早坂 克昭
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第39期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第40期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第39期
会計期間	自平成20年4月1日 至平成20年6月30日	自平成21年4月1日 至平成21年6月30日	自平成20年4月1日 至平成21年3月31日
売上高(千円)	18,817,933	26,158,405	88,512,284
経常利益(千円)	192,010	339,547	1,271,324
四半期(当期)純利益(千円)	73,220	156,977	604,773
純資産額(千円)	14,722,818	15,224,061	15,197,847
総資産額(千円)	30,734,003	36,290,083	34,224,853
1株当たり純資産額(円)	1,492.94	1,543.78	1,541.12
1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	7.42	15.92	61.33
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	47.90	41.95	44.41
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	976,173	876,397	3,451,871
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	49,894	1,189,974	2,578,196
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	39,114	90,126	1,029,776
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高(千円)	2,432,408	3,144,192	3,366,746
従業員数(人)	688	889	824

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税及び地方消費税(以下「消費税等」という。)は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社に異動はありません。

なお、平成21年5月1日に株式会社スピードを分割会社、当社の連結子会社であるスピード株式会社を承継会社とする吸収分割を行いました。これにより、スピード株式会社は、酒類・食料品・雑貨等の小売販売事業を開始しております。

3【関係会社の状況】

当第1四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成21年6月30日現在

従業員数（人）	889（1,241）
---------	------------

（注）従業員数は、就業人員（当社グループから当社グループ外への出向者を除き、当社グループ外から当社グループへの出向者を含む。）であり、臨時雇用者数は（ ）内に当第1四半期連結会計期間の平均人員（8時間換算）を外数で記載しております。

(2) 提出会社の状況

平成21年6月30日現在

従業員数（人）	597（767）
---------	----------

（注）従業員数は就業人員（当社から当社外への出向者を除き、当社外から当社への出向者を含む。）であり、臨時雇用者数は（ ）内に当第1四半期会計期間の平均人員（8時間換算）を外数で記載しております。

第2【事業の状況】

1【仕入及び販売の状況】

当社グループの事業は同一セグメントに属する酒類等販売事業を行っておりますので、事業区分別の業績に関する事項は該当ありませんが、内部の管理区分による商品区分別の概要は次のとおりであります。

(1) 商品仕入実績

当第1四半期連結会計期間の当社グループの商品部門別仕入高は以下のとおりです。

(単位：千円)

商品部門名	当第1四半期連結会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	前年同期比
ワイン	1,073,514	94.6%
洋酒	2,715,066	151.4%
ビール(ビール、発泡酒、第3ビールなど)	9,589,413	156.0%
和酒(清酒・焼酎など)	4,352,135	127.3%
飲料	1,731,306	145.5%
食品	2,885,899	160.0%
その他	1,484,115	178.1%
総計	23,831,451	146.0%

- (注) 1. 上記金額には、他勘定振替等は含まれておりません。
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

当第1四半期連結会計期間の当社グループの商品部門別売上高は以下のとおりです。

(単位：千円)

商品部門名	当第1四半期連結会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	前年同期比
ワイン	1,863,331	118.9%
洋酒	2,700,655	131.2%
ビール(ビール、発泡酒、第3ビールなど)	9,752,713	141.6%
和酒(清酒・焼酎など)	5,208,985	129.4%
飲料	1,789,798	140.8%
食品	3,532,644	163.9%
その他	1,310,275	153.8%
総計	26,158,405	139.0%

- (注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2【事業等のリスク】

当第1四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第1四半期連結会計期間の我が国経済は、景気の悪化に下げ止まり感が出ているものの昨年秋の世界的な金融市場混乱の影響が継続し、企業収益や設備投資の減少、雇用情勢の悪化など依然として先行き不透明な状況です。

当社は、厳しい経営環境に適応し、「お客様第一主義」を継続するため、引き続き、トータルコストの削減を図り、環境適応力の強化を進めてまいりました。

5月1日、当社100%出資の子会社であるスピード株式会社は、株式会社スピードより、食品ディスカウント事業とバラエティストア事業を吸収分割によって、事業承継いたしました。

スピード&ダイソーの複合店19店（大阪府12店、兵庫県3店、滋賀県1店、京都府1店、千葉県2店）及び、スピード2店（大阪府）の合計21店舗の営業を引き継いだことにより、やまやグループの連結売上高は、1,000億円を超える見通しです。

商品面では、お客様の低価格志向が続く中、新ジャンルPB「ぐぐっと生」、「ぐぐっと生、黒」に加え、「ぐぐっと生、糖質OFF」を1缶85円（消費税込）で新発売するなど、「より良い物をより安く」の方針を実践した結果、既存店のご来店客数を増加させることができました。

店舗面では、既存店の活性化を図るため、石巻店（宮城県）、南柏店（千葉県）、三芳店（埼玉県）、道玄坂店、青山一丁目店、麹町店、亀戸店（東京都）、楽市豊中西泉丘店、楽市吹田千里丘店（大阪府）、楽市三田ウディタウン店、楽市芦屋店（兵庫県）の11店舗を改装いたしました。新規出店は多賀城店（宮城県）、水戸業務店（茨城県）の2店舗で、小山店、旧多賀城店の2店舗を閉店いたしました。

当社グループの当第1四半期連結会計期間末における総店舗数は253店舗（前期末比21店舗増）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の連結業績は、売上高が261億58百万円（前年同期比39.0%増）、営業利益は3億42百万円（前年同期比79.8%増）、経常利益は3億39百万円（前年同期比76.8%増）、四半期純利益は1億56百万円（前年同期比114.4%増）の増収増益となりました。

（2）財政状態

総資産は、前連結会計年度末と比べて20億65百万円（6.0%）増加し、362億90百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が2億22百万円減少し、商品及び製品が14億45百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末と比べて13億63百万円（8.5%）増加し、173億51百万円となりました。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて7億1百万円（3.8%）増加し、189億38百万円となりました。

総負債は、前連結会計年度末と比べて20億39百万円（10.7%）増加し、210億66百万円となりました。

流動負債は、買掛金が16億33百万円増加し、短期借入金で6億円増加したことなどにより、前連結会計年度末と比べて17億81百万円（11.6%）増加し、171億12百万円となりました。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて2億57百万円（7.0%）増加し、39億53百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末と比べて26百万円（0.2%）増加し、152億24百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の44.4%から42.0%となりました。

（3）キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度と比べて2億22百万円減少し、31億44百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動で得られた資金は、8億76百万円（前年同期比10.2%減）となりました。これは主に、減価償却費が3億6百万円、仕入債務が16億33百万円増加、たな卸資産が7億46百万円増加したことなどによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動に使用した資金は、11億89百万円（前年同期比2,285.0%増）となりました。これは主に、株式会社スピードより21店舗の酒類等小売事業譲受のための支出に9億20百万円、有形固定資産の取得に2億84百万円を支出したことなどによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動で得られた資金は90百万円（前年同期比130.4%増）となりました。これは、長期借入金の返済に3億52百万円と配当金の支払に1億57百万円を支出したものの、短期借入金で6億円計上したことによるものであります。

（4）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

（5）研究開発活動

該当事項はありません。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

前連結会計年度末に計画していた設備計画のうち、当第1四半期連結会計期間に完了したものは、次のとおりであります。

(平成21年6月30日現在)

事業所名 (所在地)	設備の内容	帳簿価額(千円)			従業員数 (人)
		建物及び 構築物	工具、器具 及び備品	合計	
(株)やまや 多賀城店 (宮城県多賀城市)	酒類等販売場	20,059	8,609	28,668	4 (1)
合計	-	20,059	8,609	28,668	4 (1)

(注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 多賀城店については、平成21年6月18日に完了し、既存店舗の移転によるものであります。

3. 従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は()内に年間の平均人員(8時間換算)を外数で記載しております。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第1四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	35,000,000
計	35,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成21年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成21年8月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	9,861,700	9,861,700	東京証券取引所 (市場第一部)	1単元の株式数 100株
計	9,861,700	9,861,700	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金 残高(千円)
平成21年4月1日～ 平成21年6月30日	-	9,861,700	-	3,247,330	-	6,137,422

(5)【大株主の状況】

大量保有報告書等の写しの送付等がなく、当第1四半期会計期間において大株主の異動は把握しておりません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成21年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成21年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,860,500	98,605	-
単元未満株式	普通株式 1,100	-	一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	9,861,700	-	-
総株主の議決権	-	98,605	-

(注) 1. 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が600株(議決権の数6個)含まれております。

2. 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式が69株含まれております。

【自己株式等】

平成21年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社やまや	宮城県仙台市宮城野区 榴岡三丁目7番35号	100	-	100	0.00
計	-	100	-	100	0.00

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年4月	5月	6月
最高(円)	610	680	697
最低(円)	534	574	647

(注) 最高・最低株価は、東京証券取引所(市場第一部)におけるものであります。

3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の異動はありません。

第5【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第1四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年6月30日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第1四半期連結会計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づき作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第1四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人トーマツによる四半期レビューを受け、当第1四半期連結会計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

なお、監査法人トーマツは、監査法人の種類の変更により、平成21年7月1日をもって、有限責任監査法人トーマツとなっております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,144,192	3,366,746
売掛金	1,082,366	1,023,270
商品及び製品	11,248,181	9,802,509
仕掛品	60,290	56,426
原材料及び貯蔵品	14,311	17,182
前払費用	333,643	315,604
繰延税金資産	156,847	260,378
その他	1,312,132	1,146,968
貸倒引当金	-	368
流動資産合計	17,351,964	15,988,717
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,739,908	14,400,448
減価償却累計額	7,694,160	7,531,426
建物及び構築物(純額)	7,045,747	6,869,022
機械装置及び運搬具	2,386,804	2,259,155
減価償却累計額	1,362,698	1,306,594
機械装置及び運搬具(純額)	1,024,106	952,561
工具、器具及び備品	3,829,657	3,759,777
減価償却累計額	2,894,864	2,866,279
工具、器具及び備品(純額)	934,792	893,498
土地	5,231,060	5,230,118
建設仮勘定	12,064	12,064
有形固定資産合計	14,247,771	13,957,265
無形固定資産		
ソフトウェア	21,808	24,121
電話加入権	20,244	20,244
施設利用権	3,386	3,518
のれん	211,462	378,455
その他	3,056	3,152
無形固定資産合計	259,957	429,492
投資その他の資産		
投資有価証券	261,782	215,833
関係会社株式	240,654	248,315
出資金	2,648	2,648
破産更生債権等	36,000	36,000
長期前払費用	138,451	71,971
差入保証金	3,380,360	3,006,241
繰延税金資産	403,293	301,169
その他	40,396	40,396
貸倒引当金	73,196	73,196
投資その他の資産合計	4,430,390	3,849,378
固定資産合計	18,938,119	18,236,136
資産合計	36,290,083	34,224,853

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,957,879	7,324,513
短期借入金	5,500,000	4,900,000
1年内返済予定の長期借入金	1,138,356	1,258,356
未払金	633,612	460,511
未払費用	322,813	269,637
未払法人税等	69,058	536,374
未払消費税等	98,693	104,326
預り金	108,938	28,679
賞与引当金	186,752	346,186
その他	96,212	102,400
流動負債合計	17,112,318	15,330,986
固定負債		
長期借入金	2,451,755	2,683,844
退職給付引当金	576,405	558,543
役員退職慰労引当金	403,520	400,090
繰延税金負債	186,432	-
負ののれん	282,711	-
その他	52,879	53,543
固定負債合計	3,953,704	3,696,020
負債合計	21,066,022	19,027,006
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,247,330	3,247,330
資本剰余金	6,055,252	6,055,252
利益剰余金	5,908,805	5,909,612
自己株式	103	103
株主資本合計	15,211,284	15,212,091
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12,776	14,244
評価・換算差額等合計	12,776	14,244
純資産合計	15,224,061	15,197,847
負債純資産合計	36,290,083	34,224,853

(2)【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	18,817,933	26,158,405
売上原価	16,011,694	22,314,061
売上総利益	2,806,238	3,844,344
販売費及び一般管理費	2,615,973	3,502,284
営業利益	190,265	342,060
営業外収益		
受取利息	452	1,913
受取配当金	3,153	3,103
不動産賃貸料	7,290	5,430
受取手数料	13,331	8,721
業務受託手数料	7,766	7,459
負ののれん償却額	-	10,668
その他	21,063	20,350
営業外収益合計	53,059	57,646
営業外費用		
支払利息	18,189	16,305
店舗改装費用	6,858	3,431
店舗閉鎖損失	10,337	14,779
持分法による投資損失	2,268	7,661
その他	13,658	17,981
営業外費用合計	51,313	60,159
経常利益	192,010	339,547
特別損失		
固定資産除却損	6,421	-
災害による損失	3,204	-
特別損失合計	9,626	-
税金等調整前四半期純利益	182,384	339,547
法人税、住民税及び事業税	51,649	59,018
法人税等調整額	57,514	123,551
法人税等合計	109,164	182,569
四半期純利益	73,220	156,977

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	182,384	339,547
減価償却費	285,673	306,415
長期前払費用償却額	9,583	6,567
のれん償却額	-	14,097
負ののれん償却額	-	10,668
持分法による投資損益(は益)	2,268	7,661
支払利息	18,189	16,305
受取利息及び受取配当金	3,606	5,016
固定資産除売却損益(は益)	6,421	-
賞与引当金の増減額(は減少)	77,110	159,433
退職給付引当金の増減額(は減少)	16,541	17,862
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	2,590	3,430
未収入金の増減額(は増加)	153,652	32,875
売上債権の増減額(は増加)	179,201	59,095
たな卸資産の増減額(は増加)	230,509	746,339
仕入債務の増減額(は減少)	1,188,955	1,633,366
その他	157,110	40,624
小計	1,213,543	1,372,447
利息及び配当金の受取額	3,185	3,107
利息の支払額	18,812	15,864
法人税等の支払額	221,741	483,293
営業活動によるキャッシュ・フロー	976,173	876,397
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	300	600
有形固定資産の取得による支出	69,523	284,409
有形固定資産の売却による収入	-	161
事業譲受による支出	-	920,000
差入保証金の差入による支出	14,401	55,598
差入保証金の回収による収入	34,330	70,473
投資活動によるキャッシュ・フロー	49,894	1,189,974
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	400,000	600,000
長期借入金の返済による支出	203,100	352,089
配当金の支払額	157,785	157,784
財務活動によるキャッシュ・フロー	39,114	90,126
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,012	897
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	966,405	222,553
現金及び現金同等物の期首残高	1,466,003	3,366,746
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,432,408	3,144,192

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

該当事項はありません。

【表示方法の変更】

当第1四半期連結会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
(連結貸借対照表) 「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日内閣府令第50号)の適用に伴い、前第1四半期連結会計期間において、「商品」「製品」として掲記されていたものは、当第1四半期連結会計期間は「商品及び製品」と一括して掲記しております。なお、当第1四半期連結会計期間に含まれる「商品」「製品」は、それぞれ11,227,380千円、20,800千円であります。 また、前第1四半期連結会計期間において、流動資産の「その他」に含めていた「原材料」(54千円)「貯蔵品」(15,622千円)は当第1四半期連結会計期間は「原材料及び貯蔵品」と一括して掲記しております。なお、当第1四半期連結会計期間に含まれる「原材料」「貯蔵品」は、それぞれ440千円、13,871千円であります。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。 (千円) 給与手当 487,922 雑給 329,783 退職給付費用 19,171 役員退職慰労引当金繰入額 3,540 賞与引当金繰入額 114,816 減価償却費 178,094 地代家賃 682,620	販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。 (千円) 給与手当 626,954 雑給 533,299 退職給付費用 17,954 役員退職慰労引当金繰入額 3,640 賞与引当金繰入額 168,563 減価償却費 201,888 地代家賃 918,657

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年6月30日現在) (千円) 現金及び預金勘定 2,432,408 現金及び現金同等物 2,432,408	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年6月30日現在) (千円) 現金及び預金勘定 3,144,192 現金及び現金同等物 3,144,192

(株主資本等関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成21年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 9,861,700株

2. 自己株式の種類及び株式数

普通株式 169株

3. 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年5月8日 取締役会	普通株式	157,784	16	平成21年 3月31日	平成21年 6月29日	利益剰余金

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

当連結グループは同一セグメントに属する酒類等販売事業を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(有価証券関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成21年6月30日)

有価証券の当第1四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成21年6月30日)

当社グループは、デリバティブ取引を全く利用していないため、該当事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

当第1四半期連結会計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

当社グループは、ストック・オプション等を全く利用していないため、該当事項はありません。

(企業結合等関係)

当第1四半期連結会計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

吸収分割

1. 相手企業の名称及び取得した事業の内容

- (1) 名称 : 株式会社スピード
- (2) 事業の内容 : 酒類・食品・雑貨等小売事業

2. 企業結合を行った主な理由

独自の「ワールドリカーシステム」をベースとした酒類・食品小売店舗の全国展開を目指す企業として、株式会社スピードの店舗網の承継により、事業シナジーをも視野に関西エリアにおける店舗網の一層の拡充を図ること、並びに株式会社スピードの従業員の雇用の確保、同社お取引先様との良きコラボレーションを通じて、地域経済の活性化に寄与することを主眼としております。

3. 企業結合日

平成21年5月1日

4. 企業結合の法的形式

株式会社スピードを分割会社、株式会社やまやの100%子会社スピード株式会社を承継会社とする吸収分割であります。

5. 四半期連結財務諸表に含まれている取得した事業の業績の期間

自平成21年5月1日至平成21年6月30日

6. 取得した事業の対価として交付した株式の内訳

(1) 株式の種類と株式数

承継会社は、吸収分割の対価として分割会社である株式会社スピードに対し、承継会社が発行する普通株式930株を交付いたしました。

なお、企業結合日同日に分割に際して交付した承継会社の株式全てを、当社が930百万円で分割会社から購入し、スピード株式会社は引き続き当社の100%子会社として事業を行っております。

(2) 株式の算定方法

将来発生する可能性のある損失・費用を見込み、双方合意の上、決定しました。なお、第三者機関による算定は実施しておりません。

7. 発生した負ののれんの金額、発生原因、償却方法、償却期間

- (1) 金額 : 293百万円
- (2) 発生原因 : 株式会社スピードより取得した事業の取得原価が、取得した資産及び引き受けした負債に配分された純額を下回ったため負ののれんが発生いたしました。
- (3) 償却方法 : 定額法
- (4) 償却期間 : 5年間

8. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額

流動資産 736 百万円 固定資産 685 百万円

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)		前連結会計年度末 (平成21年3月31日)	
1株当たり純資産額	1,543.78円	1株当たり純資産額	1,541.12円

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	15,224,061	15,197,847
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	-	-
普通株式に係る四半期連結会計期間末 (連結会計年度末)の純資産額(千円)	15,224,061	15,197,847
1株当たり純資産額の算定に用いられた 四半期連結会計期間末(連結会計年度 末)の普通株式の数(株)	9,861,531	9,861,531

2. 1株当たり四半期純利益金額等

前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	7.42円
1株当たり四半期純利益金額	15.92円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2. 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
四半期純利益(千円)	73,220	156,977
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	73,220	156,977
期中平均株式数(株)	9,861,611	9,861,531

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(リース取引関係)

当第1四半期連結会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	
所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が、平成20年3月31日以前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っており、かつ、当該取引残高が、企業再編等により前連結会計年度の末日に比較して著しい変動が認められます。	
(借主側)	
株式会社スピードから酒類・食品・雑貨等販売事業を承継したことにより、増加したリース取引に係る当第1四半期連結会計期間末における未経過リース料残高相当額	
1年内	29,525千円
1年超	237,591千円
合計	267,116千円

2【その他】

平成21年5月8日開催の取締役会において、次のとおり剰余金の配当を行うことを決議いたしました。

(イ) 配当金の総額 157,784千円

(ロ) 1株当たりの金額 16円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日 平成21年6月29日

(注) 平成21年3月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年8月11日

株式会社やまや
取締役会 御中

監査法人 トーマツ

指定社員
業務執行社員 公認会計士 尾町 雅文 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 橋本 俊光 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社やまやの平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社やまや及び連結子会社の平成20年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

重要な後発事象に記載のとおり、会社は平成20年8月4日開催の取締役会で、株式会社前田を分割会社、子会社を承継会社とする吸収分割を行う分割契約書を締結することを決議し、同日付で株式会社前田と子会社は分割契約書を締結した。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が四半期連結財務諸表に添付する形で別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年8月11日

株式会社やまや
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 尾町 雅文 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 橋本 俊光 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社やまやの平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社やまや及び連結子会社の平成21年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が四半期連結財務諸表に添付する形で別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。